

～新発田市の食育～

食とみどりの新発田っ子プラン

食を通して生きる力を育む

「食育」がめざす子ども像

- 幼稚園・保育園児から「豊かなる大地を基盤とした食のサイクル」の学びを経て
- 年長児で「一人でごはんが炊ける子ども」
 - 小学6年生で「一人で弁当を作れる子ども」
 - 中学3年生で「一人以小煮物(のっぺ)のある夕食1食分を作れる子ども」

豊かなる大地からの出発

返す(リサイクル)

食の循環を意識し、食べ物を大切に
する心を育む



育てる(栽培)

生産者や自然の恵みに感謝し、命
あるものを大切にする心を育む



食べる

望ましい食習慣を身につけ、作
ってくれた人に感謝しながら、
食べることを楽しむ心を育む



作る(料理)

健康と食事の関連を意識し、命
あるものに感謝しながら料理を
楽しむ心を育む



学校の教育課程
教育の中心に食育を

連携

食育の基本は
家庭から

豊かなる大地を基盤とした食のサイクル

〈食とみどりの新発田っ子プランイメージ図〉

新発田市では、平成20年4月から市内の全幼稚園・保育園、全小・中学校において「食とみどりの新発田っ子プラン」による食育の取組を行っています。

このプランでは、園・学校と家庭や地域が連携し、教育活動の中で、新発田の「豊かなる大地を基盤とした食のサイクル」(「育てる(栽培)」→「作る(料理)」→「食べる」→「返す(リサイクル)」→「育てる」…)の学びを体験します。この取組を通して、食に関する知識や理解を積み重ねるとともに、実践力を養うことで、子どもたちの生きる力を育みます。